



道農連 2018年5月の月間活動トピックス

2018年(平成30年)6月1日発行(第63号)

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

TPP11協定国会批准反対を立憲民主党に要請

道農連は5月8日、立憲民主党のTPP11協定に関する内閣・外務・農水・経産合同部会において、国会批准反対を要請するとともに、協定内容の正確な情報公開と丁寧な論議を行い、農業者の不安払拭を求めた。合同部会には、道農連の西原正行委員長、全中の小林寛史国際部長が出席し、それぞれの立場から意見を述べた。

西原委員長は、TPP11協定の国会批准反対を求める理由として、①TPPは関税撤廃を原則とした高い水準の自由貿易を目指していること、②国が示す影響試算は国内対策を前提とした過小評価でしかない、③食料安全保障、食料自給率向上という国の責務を放棄、④国が示す国内対策では家族経営の離農に拍車がかかり、真の農政確立が急務、⑤農業以外の分野も懸念材料が多いことを挙げた。

また、効率化・競争力強化を追求した大規模経営は農家戸数の減少で地域のコミュニティの崩壊につながり、家族農家を守る政策の必要性を訴えた。

TPP11協定承認案強行採決に 抗議の委員長談話を発表

道農連は5月18日、衆議院本会議でTPP11協定の承認案を十分な審議なしに採決を強行したことに対し、抗議の委員長談話を発表した。

道農連では、引き続き国内農業を犠牲にした国際貿易交渉について反対運動を展開していくこととしている。

各地区事務局会議を開催

道農連は5月22日、23日に各地区事務局会議を開催した。

会議では、基本農政確立や業態別対策の政策提言のたたき台、31年度の農業関連税制要望などについて協議。また、「真の農政改革」政策提言の検証も行った。今後は、6月の業態別対策委員会や執行委員会で協議し、提言項目などを決定する。

雪印種苗の偽装行為等に対する申入れを実施

道農連は5月31日、雪印種苗に種子の品種偽装行為等に対する申入れを行った。今回の偽装行為などについて、強く抗議するとともに、再発防止対策の徹底及び酪農畜産農家への丁寧な説明と万全な対応を図ることを求めた。

5月の活動記録(上記以外)

- 1日 第89回全道メーデー大会
- 17日 免税軽油対策で道農政部と意見交換
- 24日 道てん菜協会定期総会・理事会
- 28日 道農業再生協議会水田部会
- 31日 道地域農業研究所特別講演

6月の活動予定

- 1日 ロバスト国際農林水産工学キックオフフォーラム
- 3日 アジア・アフリカ支援米田植祭
- 5日 主要農作物種子の道条例制定に向けた道議会対策及び道知事(農政部長対応)要請
- 6日 第2回畑作・野菜対策委員会
- 7日 「TPP11協定批准反対」全国共同行動
- 12日 第2回米・水田農業対策委員会
平成30年度第1回地域情報交換会
食・みどり・水を守る道民の会学習会
- 13日 第2回酪農・畜産対策委員会
てん菜協会現地圃場調査(～14日)
- 20日 組織財政委員会
- 26日 てん菜・てん菜合理化検討委員会
- 28日 三役会議
- 29日 第3回執行委員会・第1回真の農政改革実現対策委員会合同会議

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください
お申込み・お問い合わせは道農連事務局(TEL:011-241-5979)